

## 海外安全対策情報（令和2年7月～9月末）

### 1 治安情勢と一般犯罪の傾向

#### (1) シカゴ市

シカゴ市警察が発表する統計によると、2020年第3四半期（7月～9月末まで。10月13日現在）までの同市における主要犯罪（殺人、強姦、強盗、重傷害、侵入窃盗、自動車窃盗）の発生件数は合計36,324件となり、前年同時期比で約7%減少しました。

総数は減少傾向ですが、殺人は前年比+52%、けん銃等の発砲事件は+54%と急激に増加していることから引き続き警戒が必要です。

また、シカゴ市周辺の一部自治体でも殺人やけん銃等の発砲事案が増加しているため、ご注意ください。

地域的には、以前からシカゴ市南部及び西部の治安が劣悪なほか、中心部においてもひったくり等の犯罪が発生していることなど、南部及び西部以外の地域においても十分な注意が必要です。主要な犯罪の発生状況は以下のとおりです。

シカゴ市内における主要犯罪の発生数  
(7月～9月末まで10月13日現在 増加率は概数)

	2020年	2019年	増減率
殺人	611	403	52%
強姦	1,262	1,651	-24%
強盗	6,039	6,117	-1%
重傷害	5,367	4,989	8%
侵入窃盗	7,176	7,497	-4%
窃盗	8,384	11,477	-27%
自動車窃盗など	7,485	7,030	6%
けん銃等の発砲	2,592	1,684	54%

#### (2) 他の管内諸都市

シカゴ市と同様に各州の主要都市でも、危険とされる地域においては、徒歩では勿論のこと、公共交通機関や自家用車利用による立ち入りも控えるようにして下さい。また、安全とされる地域においても、深夜の外出を控えたり、人通りの少ない通りを避けたりする等犯罪に巻き込まれないための自衛策が必要です。

## 2 シカゴ中心部の犯罪傾向

シカゴ市警が発表している、シカゴ中心部で発生している犯罪の特徴は以下の通りです。

- レストランやカフェで食事中、スマートフォンをテーブルに置いたままトイレに行き、その間にスマートフォンを盗まれる。
- 見知らぬ人に話しかけられ、答えている間に他の仲間がスリを行う（主に若い黒人男性が使う手口）
- 人が多いエレベーターや回転扉で自分の降りる階や順番に気を取られている間にスリの被害に遭う。
- トイレの個室を使用中、個室内のフックに掛けたバッグ等を個室外側から手を入れられて盗まれる。
- ライドシェアを装い、夜間酔っ払いに近づいて乗車させ、クレジットカード等を盗む（使われる車は偽造したライドシェアのステッカーが貼られたりして本物と間違いやすくなっている）
- 多数の若者が街を徘徊しながら歩行者を襲撃して金品を奪う。

### 《シカゴ警察からの被害に遭わないためのアドバイス》

- カバンを持つときはたすき掛けにせず、利き手と反対側の肩に掛けて持つ。（たすき掛けにすると引き倒されて負傷する恐れがある。利き手の反対側の肩に掛けるのは利き手で攻撃に対する防御が出来る可能性があるため。但し犯人は武器を持っている可能性があるため原則抵抗はしない。）
- 電車やバスの座席に座る場合は荷物を自分の前に置く。
- 公共の場所で金品やスマートフォンを見せたり、使用しない。
- ヘッドフォンを装着したまま歩いたり、スマートフォンを使用しながら移動しない。
- 車両、人通りが多い道を使用する。
- 外出する際は行き先、ルート、帰宅時間等を家族に伝えておく。
- 財布は後ろのポケットに入れず、前のポケットに入れる。
- 高級ブランド品、高価な宝飾品を持ち歩かない。
- 知らない人に自分の個人情報、家族等の情報を言わない。
- 家の鍵、車の鍵、財布をそれぞれ別に持つ。同じバッグに入れてしまうと全て同時に盗まれる可能性がある。
- エレベーターに乗る時、不審な人物が乗っていたら同乗しない。
- 周囲に注意を払い、誰かにつけられていないかを確認する。つけられていると感じたときは、人通りの多い場所や近くの商店に入る。

